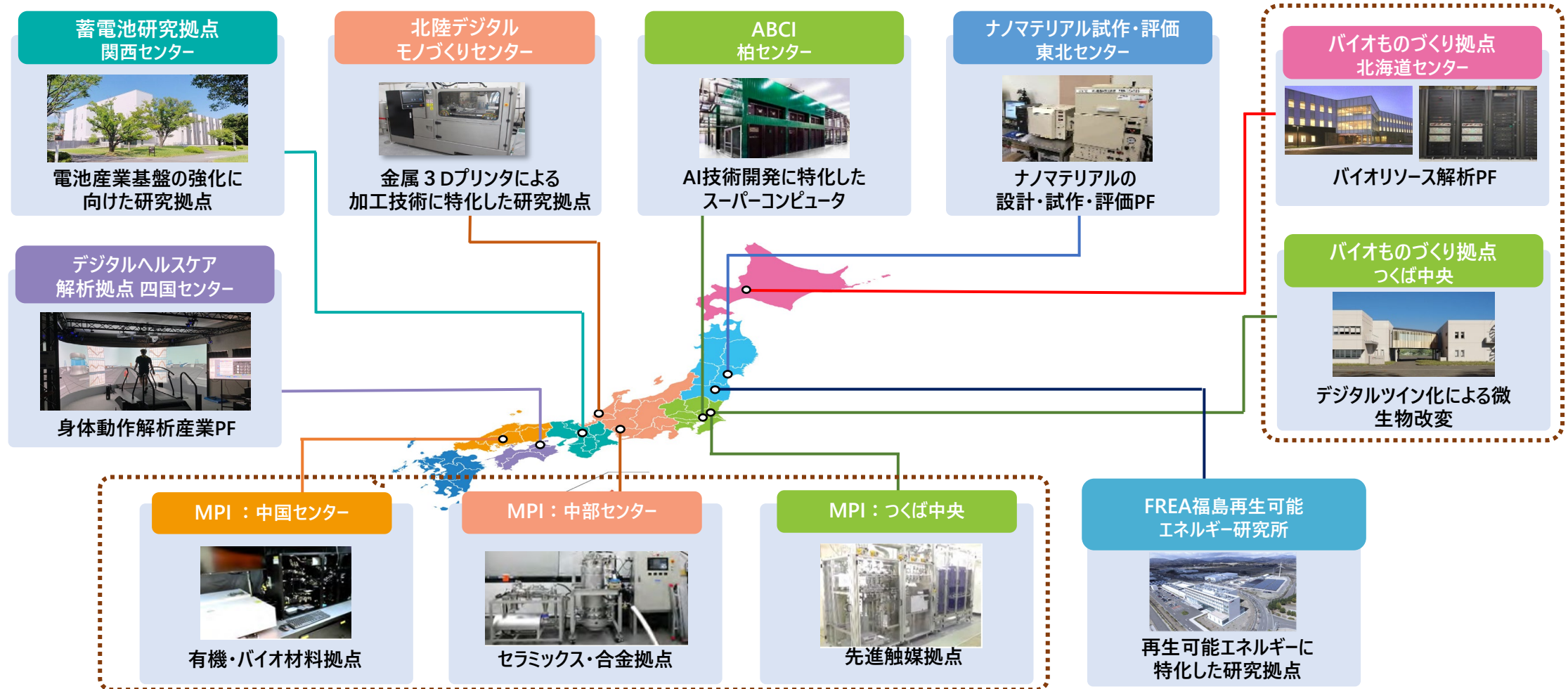


地域イノベーション創出に向けた 産総研の取組み

産業技術総合研究所 企画本部 地域部
石原正統

産総研の特徴的な研究開発ファシリティを整備

企業等が新商品や新サービスの開発などに利用できるよう、施設・設備の貸出サービスや、最先端機器等の開放・利用を実施中



産総研の新しい動き

量子・AI融合技術ビジネス開発グローバル研究センター(G-QuAT) 2023年7月設立

- 量子コンピュータとGPUスパコンをハイブリッド化し、ユースケース創出を支援
- 異なる方式の量子コンピュータを複数台導入し、次世代計算基盤を構築
- ユースケースを創出し、量子技術のビジネス開発を支援
- グローバルな強者連合を構築し、量子技術の社会実装で世界をリード

量子コンピュータ

中性原子型や超伝導型などの
複数の方式を導入



ABCI-Q

従来の産総研スパコンの
2.5倍の性能

ハイブリッド化

量子技術のビジネス開発を支援

グローバルな強者連合の構築

産総研の新しい動き

AI橋渡しクラウド（ABCI）

- 日本最大級の人工知能処理に特化した計算インフラストラクチャ
- 莫大な計算量を要する**生成AIの研究開発**を行う企業や研究機関に、**計算資源を優先配分**。大学・企業等と共同で**大規模言語モデル（LLM）などの構築**を推進
- 2025年1月20日より、**生成AIに向けた機能拡張を目的に、計算性能を7倍以上に高めた ABCI 3.0**の運用を開始



外部利用 **357** 件
企業163件, 大学160件, 国研29件

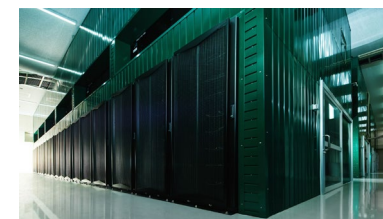
2024年3月時点

PFN社

ELYZA社

東工大

など



生成AIに向けた機能拡張

ABCI 2.0

0.85

EFLOPS*

ABCI 3.0

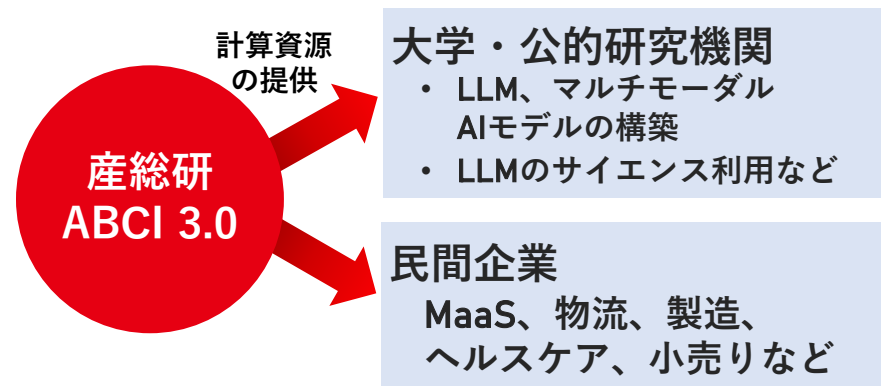
6.2

EFLOPS*

**7倍以上
高速化**

* 半精度での計算速度
AI学習・推論計算速度指標の一つ

最先端の生成AI開発等に優先提供



産技連ワンストップ全国相談窓口

国内最大級の公的研究機関である産総研とともに
企業みなさんの技術的なお悩みに対応します！

どこに相談したら良いかわからない

そんな時は

お近くの公設試へ！



国立研究開発法人産業技術総合研究所(産総研)は、国内最大級の公的研究機関です。幅広い分野で先駆的な研究開発を行っています。全国12か所の研究拠点に約2200名の研究者が在籍しています。



AIST Solutionsと連携した社会実装の加速

産総研と一体となり、**テクノロジー**と**マーケティング**を掛け合わせて、
新たな事業価値創出と社会課題解決に貢献

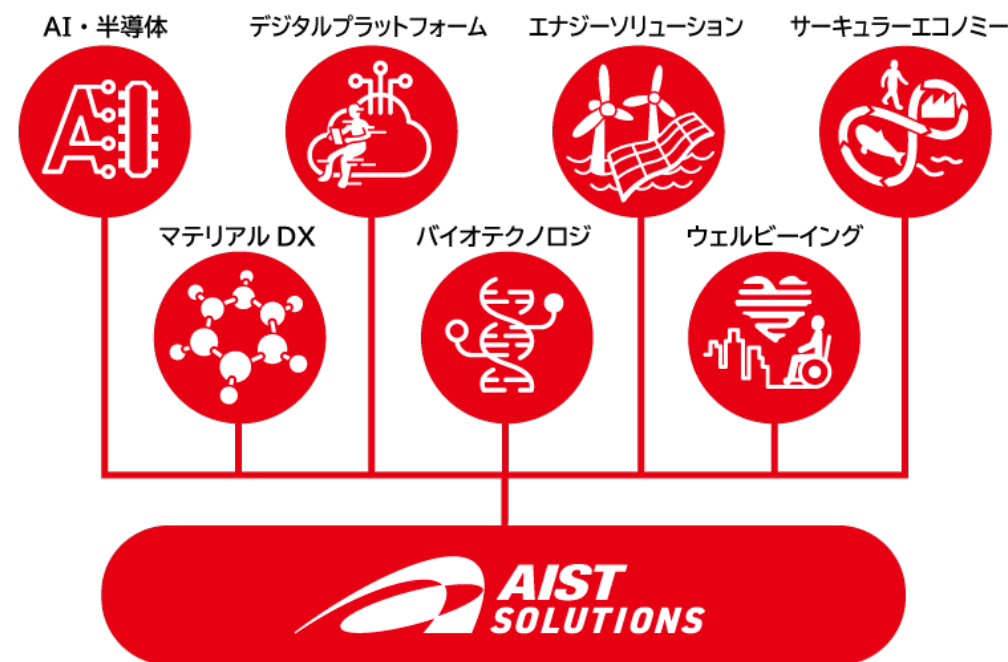


2023年4月設立

COMPANY OVERVIEW



名 称 株式会社AIST Solutions
(アイストソリューションズ)
所在地 【東京オフィス】 東京都港区西新橋 1-1-1
【つくばオフィス】 茨城県つくば市梅園1-1-1
代表者 逢坂 清治
設立日 2023年4月1日
資本金 1億円
出資者 国立研究開発法人産業技術総合研究所 (100%)



AIST Solutionsの7つのソリューション領域

AIST Solutionsと連携した社会実装の加速

- 地域拠点の特色や地域の産業構造を踏まえ、**社会実装推進に最適な連携人材を配置**
- 常駐者のいない地域拠点も各地域の実情に応じたコーディネート活動が展開できるよう、担当者を明確化し、**オンライン・出張等**を活用して**連携構築を推進**
- ポテンシャルのある**スタートアップ**は地域にかかわらず支援

中国センター

2023年度実績

- ・ AISolにて共同研究1件、技術コンサル34件実施

常駐者



三島康史 コーディネータ

関西センター

2023年度実績

- ・ AISolにて共同研究21件、技術コンサル25件を実施

常駐者

横川 弘
コーディネータ



向井 克行
マネージャ

中部センター

2023年度実績

- ・ AISolにて共同研究14件、技術コンサル36件を実施

常駐者

左合 澄人
コーディネータ



福井 武久
コーディネータ

九州センター

2023年度実績

- ・ AISolにて共同研究3件、技術コンサル9件実施

常駐者



久納 弘幸 プランナ

その他センター、ベンチャー等

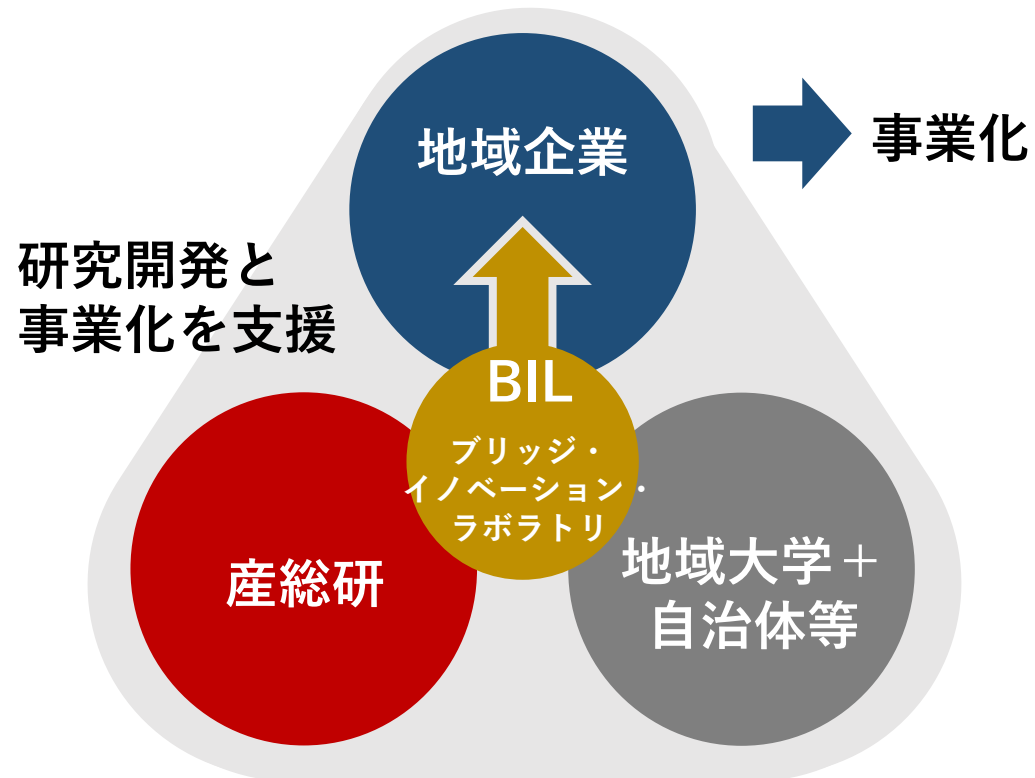
- ・ 各拠点担当のコーディネータを明確化
- ・ AISolにて共同研究15件、技術コンサル29件を実施
- ・ 地域のスタートアップも支援
(例) TriOrb社 (福岡県)
 - AISolにおいても支援中
 - 労働力不足を補う全方向移動機構を開発



*2023年度実績は
研究代表者が
地域センターの案件数

地域の企業ニーズを核とした連携の取り組み： ブリッジイノベーションラボラトリ(BIL)

地域の企業とネットワークを有する地域大学や自治体と連携し、企業ニーズを踏まえた共同研究と人材育成を通じて、地域企業の研究開発や事業化を支援



令和5年度

「金沢工大・産総研 先端複合材料 BIL」

「長岡・産総研 生物資源循環 BIL」

令和6年度

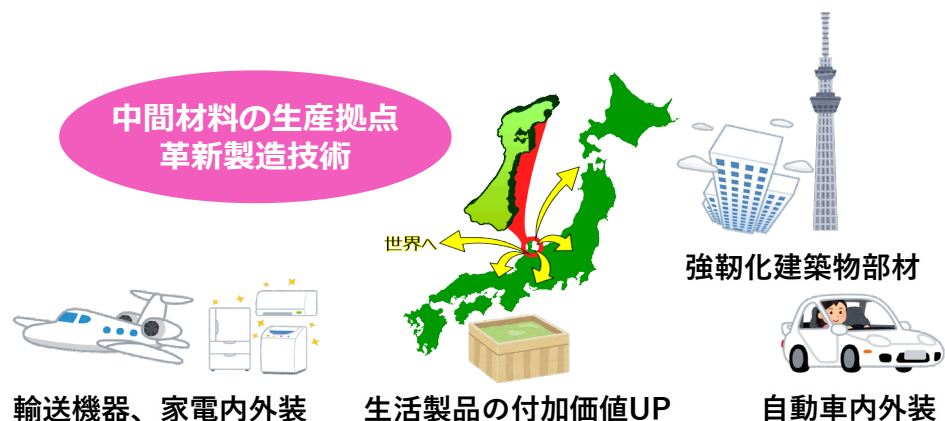
「立命館・産総研 ライフセントリックデザインBIL」

地域経済の活性化/地域社会課題の解決

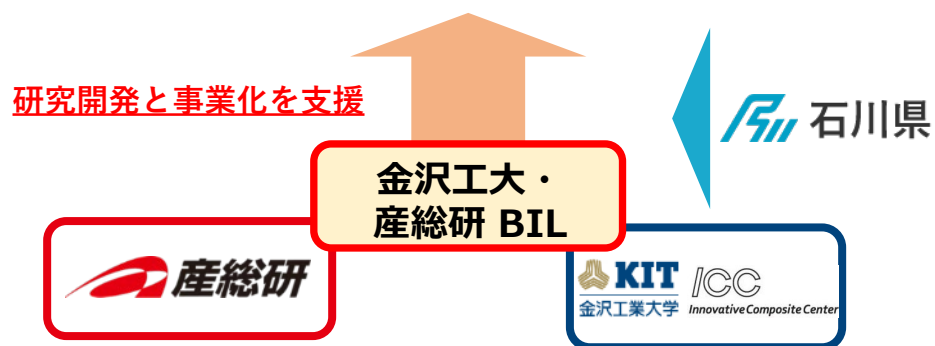
地域の企業ニーズを核とした連携の取り組み：BILの整備状況

金沢工大・産総研 先端複合材料BIL (2023年7月～)

産総研と金沢工業大学が連携し、石川県内の複合材料企業の研究開発・事業化を支援

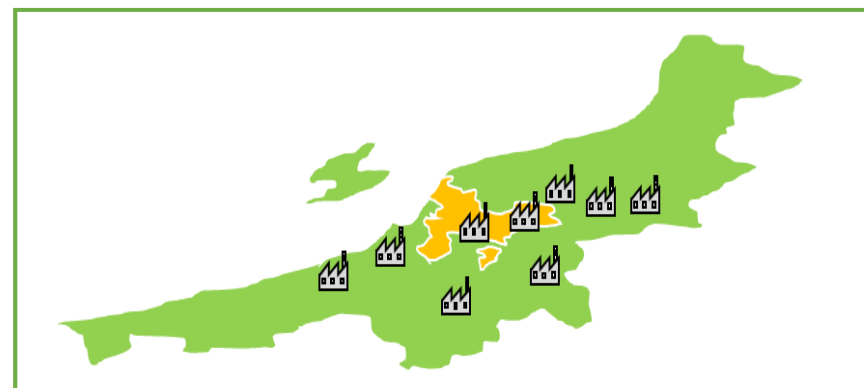


石川県内の複合材料企業

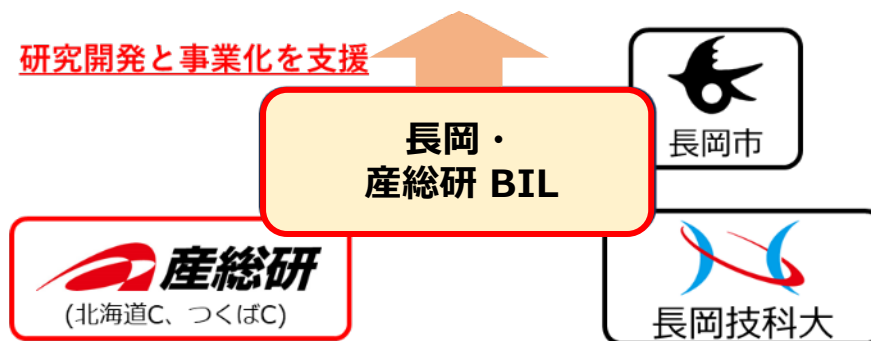


長岡・産総研 生物資源循環BIL (2023年10月～)

産総研と長岡市及び長岡技術科学大学が連携し、長岡市周辺地域の食品・バイオ関連等の企業の研究開発・事業化を支援



長岡市及び周辺地域の食品・バイオ関連等の企業



長岡・産総研 生物資源循環 BILの主な取組み

【連携・広報活動拠点】
長岡市が運営する「ミライエ長岡」
(人づくりと産業振興の拠点施設,
2023年open) に常設している連携・
広報活動拠点を中心に連携・広報活
動を推進

外観



連携・広報活動拠点



コワーキングスペース内の
個別ブース



【企業連携】

・共同研究・技術コンサル 計3件

【人材育成】

・技術研修・RA 計15名

【連携・広報活動】

・イベント: 9件
・企業との個別面談: 12社

バイオサロン(2023年)

1. NAGAOKA・AIST-BIL連携窓口紹介
2. 産総研の研究事例紹介
3. 地元企業からの話題提供



バイオエコノミーシンポジウム(2024年)

1. 産総研とともに挑む社会実装
2. ポスターセッション



地域の企業ニーズを核とした連携の取り組み：BILの新規整備

立命館・産総研
ライフセントリックデザインBIL

国際競争が激化する中、滋賀県内の素材・部品メーカーの
「**ここちよさ**」を新たな付加価値とした研究開発・事業化を支援



令和6年度補正事業による地域連携強化

【地域拠点強化】

産総研北陸センターに試作・開発や評価・分析に必要な**設備・技術を導入**、複合材料の次世代プロセス開発による地域経済産業の活性化を目指す。

【BILの拡充】

既存BILに関するファシリティ等を強化し、地域における研究開発と社会実装を加速する。また地域の企業ニーズを核とした**BILの新規整備**にも積極的に取り組む。



地域企業の技術力向上に向けて、
重要な地域ネットワークである産技連の皆様と協力し取り組んでいきたい